

第7群

日常生活自立度



障害高齢者の日常生活自立度(寝たきり度)

【選択のポイント】

- ・Jレベル：独力で外出できる（ゴミ捨て、回覧板等も含めて）
- ・Aレベル：外出は介助要するが、歩いて移動できる
- ・Bレベル：座位が保てて、1日の大半をベッド上で過ごすが、食事・排泄・着替えのいずれかはベッドから離れる。
- ・Cレベル：1日中ベッド上で過ごし、食事・排泄・着替えのいずれにおいても介助が必要。

No	事例	選択	理由
1	日常的に座位保持をする機会はあるが、規定時間の10分は体勢が崩れるためできない。疾患により指示が入らず、着替え・排泄・食事時に協力動作もない場合は「B」か「C」か。	Cレベル	座位保持(定義上の)ができないことから「C」レベルでよい。 また、10分はなんとか保持できていてもリクライニング車いすで傾斜がかなりついている状態で、着替え・排泄・食事に介助が必要な場合は座位保持が「支えがあればできる」だとしてもCレベルで考えて良い。
2	ADLは自立しており、介助もないような方。歩いて移動できるが、敷地外への外出はなく自宅敷地(かなり広い)を午前・午後2時間ずつ草むしりや畑仕事をする。この場合は「J」か「A」か。	Aレベル	

認知症高齢者の日常生活自立度

【選択のポイント】

.

No	事例	選択	理由
1			
2			